

2026 年 8 月 24 日

報道関係各位

株式会社 NTT ドコモ  
三菱地所株式会社

## ドコモと三菱地所、大手町・丸の内・有楽町エリアでの 次世代スマートシティの構築連携に合意 ～ミリ波をはじめとする通信インフラ確保を加速～

株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）と三菱地所株式会社（以下、三菱地所）は、2026 年 8 月 24 日、東京都千代田区の手町・丸の内・有楽町エリア（以下、丸の内エリア）において、ミリ波（26GHz 帯）をはじめとする先進技術を活用した 5G サービスを提供するため、高品質な 5G 通信環境を基盤とした「次世代スマートシティ※<sup>1</sup>」を共同で構築する取り組み（以下、本取り組み）を開始することに合意しました。

本取り組みは、通信量が非常に多く集中する日本の中心なオフィス・商業エリアにおいて、ドコモの最新基地局装置や先進技術による 5G サービスと三菱地所の不動産アセット活用・インフラ基盤確保ノウハウを融合させ、都市景観に配慮しながら、ミリ波の電波特性に適したアンテナ配置などをおこなう次世代インフラ基盤（以下、クラスタ）を構築し、エリア全体の快適な通信環境や新たなデジタルサービスの提供価値の創出を企図するものです。



ドコモと三菱地所は、日本の通信技術と都市開発の発展に寄与するクラスタを構築し、次世代通信技術の実証や新たなユースケース創出を推進してまいります。

### ■背景と目的

高層オフィスビルや商業施設が密集する丸の内エリアは、日本有数のオフィス・商業エリアであり、日常的に極めて通信量が多いエリアです。

ドコモは 2026 年 6 月に日本初のオークションで獲得した 26GHz 帯および既存の 28GHz 帯を合わせた計 800MHz 幅のミリ波帯域に加え、最新型グローバル基地局装置や既存 3 バンド（3.5GHz 帯、3.7GHz 帯、4.5GHz 帯、計 280MHz 幅）での組み合わせ技術（以下、Tri-Band Massive MIMO）、ガラスアンテナなどの先進技術を導入した基地局を丸の内エリアに新たに設置し、快適にご利用いただける通信品質の提供をめざしています。しかし、ミリ波の直進性の強さと遮蔽物に弱いという特性上、見通しのよい場所に多数のアンテナを設置する必要があり、歴史ある丸の内エリアの美しい都市景観との調和をいかに両立させるかが重要な課題となっています。

こうしたなか、三菱地所は、丸の内“まちまるごとワークプレイス”構想のもと、ビル単体ではなく丸の内エリア全体を一つのプラットフォームとして捉え、就業者や来街者に新たな価値を提供する取り組みを進めています。その一つとして、デジタル技術を活用した先進的なスマートシティ施策を推進しており、都市のデジタルインフラ化は、利便性向上や都市の国際競争力強化を支える重要な基盤となっています。

ドコモと三菱地所は、三菱地所が展開する 5G インフラシェア事業の活用により、全国にて迅速な基地局整備に向けた連携を進めてきましたが、本連携により、更に両社の強みを掛け合わせ、景観に配慮しながら高度なクラスタを迅速に構築し、丸の内エリアを世界有数のビジネスエリアにふさわしい次世代スマートシティへと進化させます。

## ■主な取り組み内容

---

### 1. 景観と電波特性を融合する都市型アンテナソリューションの開発・設計

- ・見通し環境の最適化：人流・通信が集中するポイントを的確にカバーするため、最適なアンテナ配置手法を検証、確立します。
- ・景観調和型インフラの考案：三菱地所が保有するビルなどの不動産アセットや都市開発のノウハウを活用し、まちの景観に配慮した、アンテナ・基地局装置の設置や新装置開発を進めます。

### 2. データセンターや光ファイバーなど都市インフラ・アセットの活用

- ・既存アセットによるインフラ効率化：エリアにおける効率的な通信整備を実現するため、オフィスビルや商業施設への基地局設置に加え、三菱地所グループの丸の内ダイレクトアクセス株式会社※<sup>2</sup>の保有するデータセンターや光ファイバー網の活用を検討します。
- ・通信インフラの迅速な展開：既存の都市インフラを活用し、ミリ波の導入や、Tri-Band Massive MIMO、ガラスアンテナなどの先進技術を導入した基地局を迅速に構築することで、効率的なネットワークを実現します。

## ■今後の展望

---

両社は、本取り組みを通じて確立した都市型アンテナソリューションおよび都市インフラ・アセットの活用ノウハウをモデルケースとして、三菱地所の 5G インフラシェア事業も活用し、丸の内エリア以外の全国主要都市中心部にもクラスタを順次展開していく予定です。また将来的には無線通信環境の拡充だけではなく、大容量・低遅延・低消費電力化を実現する APN 技術※<sup>3</sup>による有線通信環境の構築も視野に入れ、次世代スマートシティ全体の通信設備環境を充実させていきます。

※1 先進的な無線通信インフラそのものを街の基盤として構築し、新たな 5G サービスなどの提供価値を創出し、クラスタ内の就業者や来街者に提供していくことをめざす街

※2 丸の内エリアを中心に展開する、信頼性の高い光ファイバー・データセンターサービス

※3 APN (All-Photonics Network) 技術：電気に変換することなく、光のまま伝送することで低遅延・大容量・低消費電力を実現する技術